

登録コード	A2540300	開講年度	2026				
授業科目	海外農学実習					担当教員	片山 茂
英文授業名	International Agricultural Experience						BAGOU DOU ABDEL FAWAZ
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	農学部2～4年生
講義室				授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 0 2 2 Aカリ, 2 0 2 1 Aカリ, 2 0 2 0 Aカリ, 2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加わむ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					海外の現場において必要な農学の専門知識を収集し、効果的に活用できるようになる。	
	【2022年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					海外の現場において、農学の専門知識と技術を活かし、課題解決に取り組めるようになる。	
	2 0 2 6 A3 編 (24A), 2 0 2 5 A3 編 (23A), 2 0 2 4 Aカリ, 2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加わむ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					海外の現場において必要な農学の専門知識を収集し、効果的に活用できるようになる。	
	【2024年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					海外の現場において、農学の専門知識と技術を活かし、課題解決に取り組めるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本実習では、海外協定校と連携し、数週間の海外プログラムを実施します。例えば、ドイツのロッテンブルグ林業大学における林業研修や、アメリカのカリフォルニア州立大学チコ校における農業関連研修などがあります。学期のはじめに海外農学実習の計画を公表し、参加者を募集します。 実施プログラムおよび実施先は海外協定校との協議により毎年度決定するため、実施内容は年度によって異なります。詳細は掲示およびeALPS等で随時周知します。						
(5)授業計画	ロッテンブルグ林業大学校での研修では、造林から搬出、木材利用に関する講義、野生鳥獣管理・利用に関する講義、演習林の視察等を行います。ドイツ南部地域では、州および地域の森林官からのレクチャー、実際の木材生産現場での傾斜地における機械化作業、天然更新、択伐管理、都市近郊林、連邦森林庁の森林教育施設など、シュヴァルツヴァルトを中心に視察を行います。欧州各国から集まるロッテンブルグ林業大学の学生との交流も実施します。 カリフォルニア州立大学チコ校での研修では、農業・食品分野の講義への参加に加え、大学附属農場（畜産・作物・有機農業等）や農産加工施設、環境・農業関連機関の視察を行います。また、現地学生との交流授業、グループ発表、レポート作成等を通して、北カリフォルニアの農業システムと食料・環境問題について実践的に学修します。						
(6)自主学習の指針	海外で円滑な意思疎通ができるよう、事前に英語の学習を行っておくこと。						
(7)成績評価の基準	評定については次の評価基準を基本とします。 秀： 授業の達成目標水準から見て卓越している 優： 授業の達成目標水準よりかなり上にある 良： 授業の達成目標水準よりやや上にある 可： 授業の達成目標水準にある 不可（ 不可（D））： 授業の達成目標水準よりやや下にある 不可（ 不可（F））： 授業の達成目標水準にない						
(8)事前事後学習の内容	1. 各実習プログラムにおけるガイダンスおよび事前・事後学習に参加し、その中で課される課題に取り組むこと 2. 「信州農学概論」や「国際共修プログラム」等のグローバル系科目を積極的に受講すること						
(9)テストやレポートの予定	研修中の調査結果等については、個人またはグループで取りまとめ、レポートとして提出する。また、帰国後、学内においてオープン形式の報告会を実施し、その場で成果発表を行う。						
(10)成績評価の方法	研修中の行動、レポートおよびプレゼンテーションにより総合的に評価し、90点以上を秀、80～89点を優、70～79点を良、60～69点を可、59点以下を不可とします。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	プログラムの詳細は決定次第公表します。質問や相談は、下記の窓口教員または事務（学務グループ・国際交流担当）まで随時問い合わせてください。 窓口教員：FAWAZ BAGOU DOU ABDEL E-mail：fawaz@shinshu-u.ac.jp 事務：学務グループ（国際交流担当）						
(12)履修上の注意	原則、参加に要する費用（プログラム参加費、渡航費、宿泊費等）は、参加者本人の実費負担となります。ただし、大学の支援制度により、一部が補助される場合があります。 履修にあたっては、以下の条件を満たすこと。						

(12)履修上の注意	1. 有効なパスポートを取得すること。 2. 必要な予防接種を摂取すること。 3. 海外旅行保険に加入すること。 4. 薬や食品等にアレルギーがある場合は、事前に報告・相談すること。 5. 保護者および指導教員の承認を得ること。 6. 海外渡航届をeALPSから申請すること。 募集人数に上限があります（参加希望者が募集人数を超えた場合は、成績および応募申請書を総合的に判断し、場合によっては面接を実施します）。 応募者数が最小実施人数に満たない場合は、プログラムの実施を見送ることがあります。
【教科書】	なし
【参考書】	訪問国の農業・社会・文化に関する資料等を事前に調べておくことが望ましい。